

メッセージ 6

花嫁の準備

聖書：啓 19:7-9, 11-21. 21:2

- I. 小羊の婚姻は、神の新約エコノミーの完成の結果です。神の新約エコノミーは、キリストの法理的な贖いを通して、彼の神聖な命における有機的な救いによって、キリストのために花嫁、すなわち召会を獲得することです——創 2:22. ローマ 5:10. 啓 19:7-9. 21:2, 9-11。
- II. 主の回復は、すべての勝利者から成るキリストの花嫁を準備するためです——啓 19:7-9. 参照、創 2:22. マタイ 16:18 :
- A. すべての勝利者は、キリストの花嫁として千年間、その初期の新鮮な段階における新エルサレムとなります——啓 19:7。
- B. 最終的に、すべての信者たちは勝利者たちに加わって、新エルサレムを満ち満ちた方法で究極的に完成し、完全にし、新天新地においてキリストの妻となって、永遠に至ります——21:2, 9-11。
- III. 団体の花嫁の用意は、勝利者たちの命における円熟にかかっています——啓 19:7-9. ヘブル 6:1. ピリピ 3:12-15. エペソ 4:13-15 :
- A. 新約において「完全」という言葉は、信者たちが神の命において完全に成長し、円熟し、完全になっていることを指すのに用いられています。これは、わたしたちが神聖な命において成長し円熟して、完全に至る必要があることを示しています——マタイ 5:48。
- B. わたしたちは成長し続けて、ついには神聖な命において円熟して、一人の完全に成長した人となり、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達する必要があります——エペソ 4:13。
- C. 花嫁が円熟するために、彼女の信仰と愛が完全に発展する必要があります——テトス 3:15 :
1. 信仰と愛は、キリストにある信者たちの、二つの切り離せない、卓越した美德です—— I テモテ 1:14. II テモテ 1:13. ガラテヤ 5:6。
2. 信仰を通して、わたしたちは主を受け入れます。愛を通して、わたしたちは自分が受け入れた主を享受します——ヨハネ 1:12. 14:21. 21:15-17 :
- a. 信仰は神によってわたしたちに与えられ、信仰によってわたしたちは、三一の神の具体化であるキリストを受け入れて、三一の神の中へと入り、彼と結合されて一となり、彼をわたしたちの命、命の供給、すべてとします——II ペテロ 1:1。
- b. 愛は信仰から生じます。そして愛は、わたしたちと共にキリストの中へと信じた者たちにおいて、三一の神のすべての豊富を生かし出し、三一の神に栄光なる団体の表現を得させます——エペソ 3:19-21。

IV. 花嫁は命において円熟することに加えて、団体のパーソンとして建造されなければなりません——マタイ 16:18. エペソ 2:21-22. 4:15-16. 啓 19:7. 21:2 :

- A. 神の建造は神の心の願い、また神の救いの目標です——エペソ 1:5, 9. 出 25:8. 1:11. 40:2-3, 34-35。
- B. 神が意図するのは、一つの建造を得て、その中で神と人、人と神が相互の住まいとなることのできるということです——ヨハネ 15:4 前半. 啓 21:2-3, 22。
- C. 神の建造の原則とは、神がご自身を人の中へと建造し、人をご自身の中へと建造することです——ヨハネ 14:20. I ヨハネ 4:15 :
1. 神がご自身を人とミングリングすることは、神がご自身を人の中へと建造することです。
 2. 人が神とミングリングすることは、人が神の中へと建造されることです——エペソ 3:17。
- D. 仲間の信者たちと共に建造されることは、主を忠信に追い求める者たちに対する主の至上で最高の要求です—— 4:15-16。
- E. 神聖な命に共にあずかる者たちと建造されることは、神の永遠のエコノミーにおいてキリストを追い求める者の最高の美德です—— I テモテ 1:4。

V. 花嫁の婚宴の礼服は「輝く清い細糸の亜麻布」からできています——啓 19:7-8 :

- A. 「清い」は性質を指しており、「輝く」は表現を指しています。
- B. 花嫁が着る細糸の亜麻布は「聖徒たちの義」です—— 8 節 :
1. キリストは、わたしたちが神に義とされるための義です。それはわたしたちが霊の中で再び生まれて、神聖な命を受け入れるためです—— I コリント 1:30. ローマ 8:10 :
 - a. わたしたちの客観的な義として、キリストはわたしたちを彼の中で神によって義とする方です—— 3:24, 28. 5:1, 9. 4:25. 5:16, 18。
 - b. わたしたちの主観的な義として、キリストはわたしたちの中に住んでいる方であり、神によって義とされることのできる生活、また常に神に受け入れられる生活を、わたしたちのために生きてくださいます——マタイ 5:6, 20。 2. わたしたちはキリストの中に見いだされようとするなら、自分自身の義を持つのではなく、自分自身の義ではなくキリストにある信仰を通しての義、すなわち信仰に基づく神からの義を持つという条件を満たさなければなりません——ピリピ 3:9。
 3. 主観的な義として聖徒たちから生かし出されたキリストが、彼らの婚宴の礼服となります——啓 19:8 :
 - a. わたしたちが救いのために受けた義は客観的であり、わたしたちが義

なる神の要求に応じることができるようにしますが、勝利を得た聖徒たちの義は主観的であり、彼らが勝利のキリストの要求に応じることができるようにします—— I コリント 1:30. ピリピ 3:9。

- b. マタイ第 22 章 11 節から 13 節の婚宴の礼服は、わたしたちの超越した義として、わたしたちが日常生活で生かし出すキリスト、わたしたちを通して表現されるキリストを表徴します——マタイ 5:20. 啓 3:4-5, 18。

VI. 花嫁を花婿にささげるために、花嫁は美しさを必要とします——雅 1:15-16.

4:1, 7 :

- A. 雅歌において、愛する者と愛する方はいずれも美しさを持っており、彼らは互いの中にある美しさを評価します—— 1:15-16. 4:1-5, 7。
- B. エペソ第 5 章 27 節は花嫁の美しさを語っており、「しみやしわや、そのようなものが何もなく、聖くて傷のない栄光の召会を、彼 [キリスト] がご自身にささげる」ことを啓示しています。
- C. 召会の中へと造り込まれ、そして召会を通して表現されるキリストから、花嫁の美しさは出て来ます——エペソ 3:17 前半。
- D. わたしたちの唯一の美しさは、わたしたちの内側から輝き出るキリストです。キリストがわたしたちの中で評価するものは、ご自身の表現です——詩 50:2。
- E. 「あなたの目は美しさの中にある王を見て」（イザヤ 33:17 前半）、「王はあなたの美しさを慕い求める」（詩 45:11 前半）。
- F. 「わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようである」——雅 6:4。

VII. 花嫁はまた、神の敵を打ち破る戦士でなければなりません——エペソ 6:10 :

- A. エペソ第 5 章 25 節から 27 節と第 6 章 10 節から 20 節で、わたしたちは、召会が花嫁と戦士であることを見ます。啓示録第 19 章にも、召会のこれら二つの面があります。
- B. キリストは彼の婚宴の日に、神の敵と長年戦ってきた者と結婚します。すなわち、キリストはすでに邪悪な者に打ち勝った勝利者と結婚します——啓 19:7-9. I ヨハネ 2:14。
- C. キリストは戦う将軍として、彼の軍隊である花嫁と共に来て、ハルマゲドンで反キリストと戦います——啓 19:11-21 :
1. キリストは彼の軍隊と共に来るとき、人の子として来ます——マタイ 26:64. 啓 14:14。
 2. 彼は人の子として、彼に符合し、彼を完全にする配偶者を必要とします。この配偶者は彼の花嫁です——ヨハネ 3:29。
 3. 主は言であり、彼の戦いは神の言を語ることです——啓 19:13 :
 - a. 主は戦う時、神のために語り、神を表現します。

b. ハルマゲドンでの主の戦いは、力強い語りかけです。

4. 婚宴の礼服（わたしたちの日常の義としてわたしたちから生かし出されるキリスト）は、わたしたちが婚宴に参加するように資格づけるだけでなく、軍隊に加わってハルマゲドンの戦いで、キリストと共に反キリストと戦うように資格づけます——マタイ 22:11-12. 啓 19:7-8, 14。

VIII. 団体のキリスト（キリストと彼の勝利を得た花嫁）は、石として来て人類の統治の総合計を打ち砕いて、神の王国をもたらします——ダニエル 2:34-35.

ヨエル 3:11. 啓 19:11-21. 参照、創 1:26 :

- A. ダニエル書第 2 章は、キリストが人手によらずに切り出された一つの石として来ることについて語っています。啓示録第 19 章は、キリストが彼の軍隊としての彼の花嫁を持つ方として来ることについて語っています。
- B. キリストは地に下って来て、反キリストと人類の統治の総合計を対処する前に、婚宴を持ち、彼の勝利者たちを彼ご自身に結合させて一体とならせます——啓 19:7-9。
- C. 主は婚宴の後、彼の新しくめとった花嫁と共にやって来て、反キリストを滅ぼします。この反キリストは彼の軍隊と共に、直接、神と戦います—— 11, 13-15 節. II テサロニケ 2:2-8 :
1. 神の言である主イエスは、彼の口の息によって反キリスト、すなわち不法の者を殺します——啓 19:13-15. II テサロニケ 2:2-8。
 2. キリストの口からは鋭い剣が突き出ており、彼はそれをもって諸国民を打ちます——啓 19:15 前半. 参照、1:16. 2:12, 16。
- D. 人類の統治を打ち砕いた後、神は全宇宙を一掃します。その後、団体のキリスト、すなわち、キリストと彼の勝利者たちは、大きな山となって、全地を満たし、全地を神の王国とします——ダニエル 2:35, 44. 7:22, 27. 啓 11:15。